

議会 だより

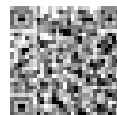
 **こがし
古河市**

第 **56** 号

平成 30 年 12 月 1 日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



たくさんの菊をご覧あれ♪♪（古河菊まつり）

平成 30 年 第 3 回定例会 開催

第 3 回定例会は 8 月 30 日から 9 月 14 日までの会期 16 日間で開かれ、諮問 2 件、認定 1 件、報告 12 件、議案 24 件、決算認定 15 件について審議しました。9 月 6 日、7 日の 2 日間にわたり、一般会計決算特別委員会において一般会計、9 月 10 日の特別会計・企業会計決算特別委員会において、13 特別会計および水道事業会計の決算を審査しました。

一般質問は 9 月 11 日、12 日の 2 日間行われ 12 名の議員が登壇しました。また最終日に議員提出議案 1 件が追加されました。請願 4 件、陳情 4 件については、3 ページの一覧表のとおりとなりました。

平成 30 年 第 3 回定例会 議決一覧表

議案等番号	件 名	議決日	議決結果
諮問第 3 号 諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	30.8.30	同 意
認定第 7 号	平成 30 年度古河市一般会計補正予算（第 2 号）の専決処分の報告及び承認を求めることについて	30.8.30	承 認
議案第 93 号	古河市議会議員及び古河市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 94 号	古河市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 95 号	古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 96 号	古河市ファミリー・サポート・センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 97 号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 98 号	古河市介護保険条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 99 号	古河市建築基準条例及び古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	30.9.14	原案可決
議案第 100 号	財産の取得について	30.9.14	原案可決
議案第 101 号	仁連地区調整池・樋管整備工事請負契約締結について	30.9.14	原案可決
議案第 102 号	市道の路線廃止について	30.9.14	原案可決
議案第 103 号	市道の路線認定について	30.9.14	原案可決
議案第 104 号	平成 29 年度古河市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	30.9.14	原案可決
議案第 105 号	平成 30 年度古河市一般会計補正予算（第 3 号）	30.9.14	原案可決
議案第 106 号 から第 115 号	平成 30 年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第 1 号）ほか 9 特別会計補正予算	30.9.14	原案可決
議案第 116 号	平成 30 年度古河市水道事業会計補正予算（第 1 号）	30.9.14	原案可決
認定第 8 号	平成 29 年度古河市一般会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 9 号	平成 29 年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 10 号	平成 29 年度古河市国民健康保険特別会計（直診勘定）歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 11 号	平成 29 年度古河市古河福祉の森診療所特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 12 号	平成 29 年度古河市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 13 号	平成 29 年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 14 号	平成 29 年度古河市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定

議案等番号	件名	議決日	議決結果
認定第 15 号	平成 29 年度古河市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 16 号	平成 29 年度古河市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 17 号	平成 29 年度古河市ゴルフ場事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 18 号	平成 29 年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 19 号	平成 29 年度古河市片田南西部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 20 号	平成 29 年度古河市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 21 号	平成 29 年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	30.9.14	認 定
認定第 22 号	平成 29 年度古河市水道事業会計決算認定について	30.9.14	認 定
議員提出 議案第 5 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	30.9.14	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願・陳情一覧表

番 号	件 名	提 出 者	審議結果
平成 30 年 請願第 2 号	主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	茨城県西農民センター 飯田 和夫	継続審査
平成 30 年 請願第 3 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 杉山 繁 ほか 517 名	採 択
平成 30 年 請願第 4 号	旧産業技術専門学院跡地の南側市道拡幅について	那須 和弥 外 250 名	採 択
平成 30 年 請願第 5 号	シルバー人材センター「特定費用準備資金」の見直しを求める請願	公益社団法人古河市シルバー 人材センター 理事長 秋山 康俊	継続審査
平成 30 年 陳情第 2 号	シルバーリハビリ体操の普及を行う指導士の養成を求める陳情	おやま高正と信じられる古河市 をつくる会 小山 高正	採 択
平成 30 年 陳情第 4 号	放課後等デイサービスにおける質の向上及び監視強化に関する陳情	差別主義者から庶民を守る会 代表 高橋 好秋	継続審査
平成 30 年 陳情第 5 号	地域包括ケアシステムにおけるインフォーマルサービスの充実に関する陳情	差別主義者から庶民を守る会 代表 高橋 好秋	趣旨採択 (※)
平成 30 年 陳情第 6 号	古河駅周辺地域に群生するムクドリ問題の対策として、特殊波動方式のパルス発生装置の導入を求める陳情	おやま高正と信じられる古河市 をつくる会 小山 高正	継続審査

※趣旨採択…請願・陳情の願意は妥当だが、その一部の実現が困難と思われ、「趣旨については賛成」とするもの

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	真政会			古河市公明党				古河維新の会				市政同志会		政研・市民ベースの会					無党派						
	黒川輝男	鈴木隆	園部増治	赤坂育男	渡辺松男	高橋秀彰	佐藤稔	靄見久美子	増田悟	倉持健一	山腰進	稲葉貴大	渡邊澄夫	小森谷英雄	佐藤泉	並木寛	生沼繁	大島信夫	秋山政明	阿久津佳子	長浜音一	秋庭繁	落合康之	四本博文	
議案第 94 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 97 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 101 号		○				○		×	—	×	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第 104 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 8 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 9 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 12 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 13 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 14 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 15 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 16 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
認定第 17 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 18 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第 21 号		○				○		○	—	○	○		○		○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○
認定第 22 号		○				○		×	—	○	○		○		○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○

※ 議長は表決に加わらないため「—」と表示。

平成29年度 各会計決算を認定

9月6日、7日、10日の3日間にわたり、正副議長および議会選出監査委員を除いた全議員が一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会に分かれ、一般会計、13特別会計および水道事業会計の決算を審査しました。

各会計の決算額

単位：円 水道事業会計 単位：円

		認定番号	平成29年度歳入決算額	平成29年度歳出決算額	認定第22号	平成29年度決算額
一般会計		第8号	51,341,844,018	49,720,328,946	収益的収入	2,697,536,629
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	第9号	17,830,307,198	17,830,307,084	収益的支出	2,194,320,139
	国民健康保険(直診勘定)	第10号	65,186,427	62,863,817	資本的収入	686,192,677
	古河福祉の森診療所	第11号	164,244,429	140,500,257	資本的支出	2,080,849,240
	後期高齢者医療	第12号	1,285,895,159	1,283,421,641	水道事業の概要	
	介護保険(保険事業勘定)	第13号	9,913,408,280	9,656,730,109		
	介護保険(介護サービス事業勘定)	第14号	35,682,594	33,590,003		平成29年度末
	公共下水道事業	第15号	3,888,871,130	3,751,638,730	給水戸数	58,332戸
	農業集落排水事業	第16号	624,447,673	596,198,132	給水人口	139,840人
	ゴルフ場事業	第17号	109,618,113	109,119,245	給水普及率	95.3%
	古河駅東部土地区画整理事業	第18号	1,004,142,155	955,582,372	給水量	16,517,944 m ³
	片田南西部土地区画整理事業	第19号	21,614,312	21,092,787	有収水量	14,362,747 m ³
	公共用地先行取得	第20号	177,191,607	177,191,607	有収率	87.0%
	仁連地区新産業用地開発事業	第21号	999,922,635	999,922,635		

決算特別委員会

決算特別委員会での主な質疑と答弁をお知らせします

◆一般会計(歳出)

○職員研修事業

問 前年度と比較し、どのような研修の受講者が増加しているのか。新規研修の実施は。

答 平成29年度から人事評価の本稼働により、受講者が増えている。また、新たに接遇研修を実施している。

○児童発達支援事業

問 事業が前向きに進んでいるが、今後始まる放課後等デイサービス事業について伺う。

答 平成30年度から放課後等デイサービス事業が始まり、その他合わせて4事業が始まる。関係機関と連携をとり、進めていきたい。

○新4号国道アクセス道路整備事業

問 用地買収が95.5%まで進んでいるが、あと何名の地権者が残っているのか。平成32年度の事業完了を目指すとするが、今後の工事の予定について伺う。

答 共有名義も含めてあと5件

残っている。今後の工事の予定は、野木町の工業団地付近の抜根工事を発注しており、道路改良工事、下層路盤までは進んでいる状況である。

○小学校環境整備事業

問 工事請負費に障がい児等対策工事とあるが、工事を行った場所と内容について伺う。

答 古河二小、下大野小、釈迦小でスロープ等の工事、下辺見小で多目的トイレの工事を行った。

平成29年度決算に対する各会派の意見

真政会

平成29年度決算においては、市長公約の新市建設計画の着実な進展に向けて、新駅の再基礎調査や仁連地区新産業用地の整備等が行われた。今後も的確な財源確保に努め、対話と行動を基本姿勢に、市民満足度の高い行政サービスの展開を期待する。

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

平成29年度一般会計の実質収支は約14億円の黒字である。今後も経済の活性化を図りつつ、自主財源確保に向けて各産業の振興に取り組み、財政基盤の強化を期待する。また、近年のさまざまな自然災害に対応した防災・減災対策のさらなる体制づくりの強化を望む。

渡辺 松男 高橋 秀彰
佐藤 稔 霧見久美子

古河維新の会

昨年9月に発注した水道管布設替工事について規定違反があったとして、現在、住民監査請求の手続きがなされている。平成29年度水道事業会計決算の中には当該工事の前払い金の支出が含まれており、適正に執行したとは言い難く、当会派としては認定できない。

増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

市政同志会

少子化対策の一つとして、古河市内で365日24時間対応可能な小児救急医療の体制づくりが課題である。子育て支援や定住促進を図るためにも、医師確保と併せて、医療機関への積極的な働きかけを行うなど、市民ニーズに沿った施策展開を望む。

渡邊 澄夫 小森谷英雄
佐藤 泉

政研・市民ベースの会

執行過程にトップおよび組織のマネジメント力の課題が残り、まちづくりの短期・中期ビジョンの早期策定とプロセス作成等、政策能力の向上が求められる。特に市役所組織は、常に市民ニーズの共有や意思疎通を図り、行政サービスを進めるべきである。

並木 寛 生沼 繁
大島 信夫 秋山 政明
阿久津佳子 長浜 音一

会派に属さない議員

平成29年度決算は、とねミドリ館駐車場の借地料、仁連地区新産業用地開発、水道工事の規定違反があり賛成できない。

秋庭 繁

国保特別会計においてジェネリック医薬品の使用促進、特定健診受診率の向上により法定外繰入金を減額できたことは称賛に値する。

落合 康之

人生100年時代が声高に叫ばれ、介護保険や医療費は10年後に危機的状況を迎える。特別会計の先を見据えた行政手腕が問われる。

四本 博文



第3回定例会 一般質問

12名の議員が市政を問う



増田 悟 議員

災害対策について

問 平成27年9月の関東・東北豪雨では、市内の何本もの道路が冠水し通行不能となり、交通渋滞が生じた。特に国道125号東諸川の西仁連川橋の所は、台風や豪雨時に何度も冠水し、通行不能となる。そこで、県や国への要望、市の対策を伺う。

答（都市建設部長） 新たに整備する幹線道路は、冠水しないよ

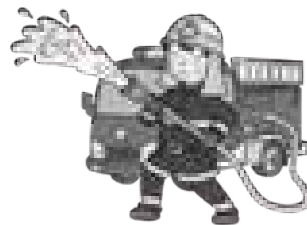
う計画、整備し、既存幹線道路についても災害時に通行確保できるように対策等を検討する。具体的な路線として、市道では筑西幹線道路、十間通りを災害時に通行可能な道路として計画する。また、国および県へ、国道125号、県道つくば古河線の整備要望を行っていく。

消防団について

問 年間6万円の功労報償金を廃止し、消防団員への支援として装備品を支給することだが、どんな装備品か。また、以前の市長答弁で、消防団員の確保が厳しい状況を踏まえ、団員や家族が割り引きを受けられる消防団員応援の店等、優遇制度

も推進していくとのことだったが、その後の推進状況を伺う。

答（生活安全部長） 平成29年度に全消防団員に新たにヘッドライト、ゴーグル、救命胴衣、また、全分団に対しては例年支給予定数の倍の消火用ホース4本を支給した。また、古河市消防団員応援の店について、実施要綱の精査や店舗の募集等、導入に向け鋭意作業を進めている。



《その他の質問》

・消防自動車について



鈴木 隆 議員

下水道事業の将来計画について

問 下水道事業においては循環型システムへの転換が求められている。国土交通省は堆肥化事業を主導しており、先進事例として佐賀県佐賀市では、汚泥処理費用を半減することができ、また安価で購入できる肥料は農業者や多くの市民に利用され、成功を収めている。実現に向けて、事業手法も含めた市の課題と今後の計画について問う。

答（上下水道部長） 下水汚泥が肥料として再生されるよう努めることは下水道管理者の責務と認識している。肥料化の事業化を進める手法としてはPFI方式があり、その中でも幾つかの方式がある。事業手法、業者選定、販売ルートをどのようにするか等、課題の解決が必要である。また、平成33年度までに、汚水処理の事業運営に係る広域化、共同化計画の策定をするよう進めている。



古河浄化センター

シティーセールスプランについて

問 生き残りをかけた都市間競争に勝ち抜くためには、各部署が目標や取り組み手法などを共有し、市内外に向けた、組織全体で体系化した戦略性や統一性のあるシティーセールスが効果的である。ベースとなるプランの策定が必要と考えるが、所見を伺う。

答（市長） あらゆる手段、機会を活用し、古河市の魅力を生かすことで、今後もシティーセールスを行っていききたい。また、プランの策定については、先進地の例を検討しながら、今後取り組んでいきたい。



園部 増治 議員

南古河駅設置計画について

問 8月31日の読売新聞に掲載された記事によると針谷市長は、「新駅設置は新市建設計画の先導的プロジェクト。この事業が進まなければ他の事業も進まない。市民に情報公開をしながら、不退転の決意でまちづくりを進めていきたい。」とコメントしている。また、市が新駅予定地周辺で基礎調査の報告会を8回開催したが、強い反対意見はなく早期の新駅設置を望む声が多

かった。課題として収益性、財源、区画整理事業の3つが挙げられているが、これらの課題の整理と今後の取り組みについて、特に新駅周辺のまちづくりに対する考えを伺う。



新駅基礎調査報告会の様子

答（市長） 今後の取り組みとして、市民アンケート調査の実施、若年層との意見交換会を予定している。実態を把握し、市民の皆さまに情報公開をしながらまちづくりを進めていきたい。

答（企画政策部長） 課題としての収益性については、新駅設置

に伴う費用を上回る新規利用客による収入確保が必須である。財源については、用地および建設費用は原則請願者の全額負担とJRから要請されているため、合併特例債や外部資金の導入等も視野に入れた財源の確保の検討が必要である。

答（都市建設部長） 新駅周辺のまちづくりの取り組みとして、茨城県都市計画協会において、都市計画や建築など、各分野の専門家をまちづくりアドバイザーとして派遣する制度があるため、大堤南部土地区画整理事業地元勉強会に、土地区画整理に詳しい講師の派遣申請をしているところである。

《その他の質問》

・防災・減災について



赤坂 育男 議員

古河駅西地区の歴史的景観の保全・整備について

問 古河駅西地区には、歴史ある町並みが数多く残っており、古河市の観光を支える大きな役割を果たしているが、近年空き家、空き地が目立つ。このような景観の保全、整備について見解を伺う。

答（市長） 景観法に基づく古河市景観計画を作成後、平成27年に古河市景観条例を施行し、景観の保全、誘導に努めている。

また、同計画においては、古河歴史博物館周辺を計画形成重点地区として指定しており、古河市の歴史、文化を生かした景観形成を図っている。今後は景観形成重点地区の拡大や新規指定も視野に入れていきたい。また、景観の保全については、市民の景観まちづくり意識の醸成を図るため、平成28年より隔年で、良好な景観の形成に貢献していると認められる建築物等を表彰している。今後も啓発活動を行っていききたい。



旧軽部医院の跡地利用について

問 旧軽部医院の跡地は古河市

に寄附されてから十数年経過しているが、利用の方策が示されていない。そこで、地域の交流拠点として活用できる、子ども食堂を開設してはいかがか。今後の利用目的について伺う。

答（市長） 子ども食堂は古河市においても今年3月より大山地区で月1回開設されており、潜在的なニーズはあると見込まれる。旧軽部医院の跡地活用については、現在の建物の取り壊しや維持管理費用等も含めて精査し、福祉目的での活用を前提に、何よりも寄附者の意向を大切に今後検討していきたい。

《その他の質問》

・防災について



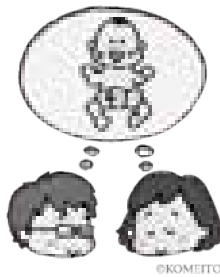
霧見 久美子 議員

不育症について

問 不育症とは、妊娠はするが流産や死産を繰り返すなど、結果的に赤ちゃんが持てないことをいう。治療や予防のためのヘパリンカルシウム製剤は、保険適用となったが、検査や治療の多くが保険適用外であり、多額の費用がかかる。市として患者支援のための治療費助成について、所見を伺う。

答（健康福祉部長） 不育症治療

は、精神的負担に加え、保険適用外の高額な医療費による経済的負担も大きい。不育症の相談窓口として、県の不妊専門相談センターや保健所があり、市のホームページへの掲載、広報に県が実施する妊活会の掲載を行う等、周知啓発を行っている。不育症の助成については、県内13市町村で実施している。保険適用外の費用面の課題があるため、県や他自治体の動向を注視しつつ、取り組みを検討していきたい。



小児がんについて

問 小児がんは、がん全体の1%にも当たらないが、早期発見が難しい。小児がんの中の網膜芽細胞腫は、網膜に発生するがんであり、早期発見することで眼球を摘出しないですむ。そのための啓発活動と、乳幼児健診のときの問診票への項目記載ができないか所見を伺う。

答（健康福祉部長） 健診に当たる職員の網膜芽細胞腫への専門知識を深める等、啓発活動や早期発見に努めていきたい。網膜芽細胞腫の乳幼児健診の問診項目については内容を再検討する。しかし、記載事項の量等の問題もあり、追記が難しい状況であることもご理解いただきたい。



高橋 秀彰 議員

障がい児・者を対象とした歯科診療所の設置について

問 現在、県内における障がい児・者を対象とした歯科診療センターは、水戸市と土浦市にしかない。今後、古河市においても、障がい児・者の日常生活を支援し、生活の質の向上を図ることが大事であり、歯科診療所の設置を、ぜひ実現していただきたい。

答（市長） 土浦市での治療では片道2時間、治療等含めると1

日が必要であり、厳しい状況であると十分理解している。また、市では通院に対して助成をしており、平成29年度の申請118回の内訳は県内が38回、その他80回は県外の医療機関の受診という実情もある。住み慣れた古河の地で安心して生活するために、県、市、歯科医師会が一体となり、社会福祉の観点から設置に向けて検討を進めていきたい。



学校施設や通学路等におけるブロック塀等の安全対策について

問 子どもや、市民を巻き込む悲惨な事故を防ぐため、民間の

ブロック塀等についても、安全点検を促しながら、危険なブロック塀等の撤去、改修が必要である。そこで、インセンティブを高めるために、撤去費用等の一部を助成するなどの支援施策が必要と考えるがどうか。

答（都市建設部長） 塀等は建築基準法で、その所有者の責任において適正に管理するものと定められている。また、法律の改正により、過去には適法であっても現在は既存不適格になるものなど、分類が非常に難しいという問題がある。児童生徒の安全の確保など、全庁的に調整が必要であるため、今後は国費の助成制度など、情報収集を行い、協議を重ねていきたい。



渡辺 松男 議員

防災・減災について

問 洪水ハザードマップとタイムラインは目の届くところに置き、いざというときに活用できることが大事であるが、マップは薄く、本の中に挟まって紛れてしまうこともある。次回は、A4よりも大きいサイズや、ブック型に変更するなど工夫し、改良をお願いしたい。いざというときどう逃げるのかは、普段から自分で考え、自分で行動する意識が必要である。そこで、

常総市が推進中のマイ・タイムラインが必要ではないか。また、子どもは小中学校で教わったことを忘れず、そのまま大人になるため、学校での防災教育が一番大切である。イラストやクイズを使い、楽しく学べる工夫がされている「こども防災手帳」を提案したい。

答（教育長） こども防災手帳については、今後さらに詳しい情報を収集し、検討していきたい。

答（生活安全部長） 市民の皆さまにハザードマップの有効性を知っていただき、いざというときに役立てていただくため、今後も関係団体と連携し、その活用を積極的に啓発していく。次回改訂時には、大きさやブック型等、なくさないようなもの

を考え、抜本的に見直していききたい。また、防災説明会や出前講座の回数を重ねている地域では、タイムラインからマイ・タイムラインに踏み込んでいる地域もある。しかし、啓発が行き届いていない地域もあるため、今後も支援を行っていききたい。



古河市洪水・道路冠水ハザードマップ

＜その他の質問＞

・自転車保険について



阿久津 佳子 議員

防災・減災の取り組みと災害時の自助・共助のあり方について

問 防災・減災と自助・共助は相関性がある。それぞれの取り組みと市民への啓発について伺う。また、マイ・タイムラインは自助の行動指標となる。古河市監修のマイ・タイムラインを作成する予定はあるのか。

対象とした地域防災訓練等を行っている。また防災出前講座、市長と語ろうまちづくりを通じ、市民の防災意識を高めるなど自助、共助の啓発を行っている。マイ・タイムラインの作成については、鬼怒川・小貝川大規模氾濫に関する減災対策協議会で作成された教材、逃げキッドを参考に作成を検討している。



逃げキッド

マイ・タイムライン検討ツール

古河市福祉避難所基本計画について

問 基本計画の中で、福祉避難所の整備と追加指定および避難

行動要支援者の個別支援計画作成は喫緊の課題と考える。その進捗状況について伺う。また、災害時の近隣市町との福祉避難所等の相互間援助・協定締結について所見を伺う。

答（健康福祉部長） 福祉避難所の整備、追加指定についてはバリアフリー化への修繕等を調査中であり、関係各課と順次協議を進めていきたい。また、避難行動要支援者の個別支援計画の作成については、市内12カ所の高齢者等の福祉事業所に協力いただき試行的に行っている。近隣市町との災害時の支援協定は平成29年10月に締結しており、避難所等の相互利用も規定されているため、協定に基づき利用の要請をする想定である。



秋山 政明 議員

児童虐待について

問 3月に起きた東京都目黒区の5歳児虐待死をきっかけとし、国では早いスピードで再発防止に向けた話し合いが行われている。市においても2009年に児童虐待の末、子どもが意識不明の重体となる事件が発生している。

同じような事件が二度と起きないためにも、市の児童虐待について①児童虐待の現状として、近年の相談件数の推移と被虐待児の年齢、情報経路について②

原因と課題として、どのように課題を認識しているか③対策と効果として、現在取り組んでいる打ち手について④今後、行政として何ができるのか、以上4点について問う。



答（健康福祉部長） ①新規の児童虐待相談受け付け件数は平成27年から29年までの3カ年の間、40件台から70件台で推移している。また年齢別では、平成29年度の新規受け付け件数44件のうち、0歳から未就学児が21件と特に多く、次いで小学生が18件、中学生が4件、高校生が

1件である。これらは家庭や親族、近隣住民や知人から市へ相談されることが特に多い。②子育てについて相談できる人がいない等、孤立感から児童虐待につながるケースが多いと考える。③養育困難家庭への地域での見守り支援、また、市内関係機関27団体の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議の3層構造によるネットワーク体制をとりサポートしている。④子育て支援の充実、積極的な啓発活動等を行い、関係機関との連携を密に地域での見守り支援を進めていきたい。また、児童虐待の防止、早期発見、早期対応の窓口を担う子ども家庭総合支援拠点の準備に向け、今年度当初より検討を進めている。



生沼 繁 議員

シルバー人材センターに対する古河市の行政支援について

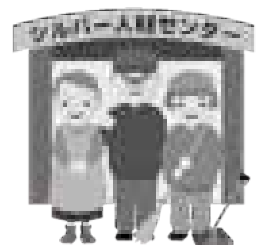
問 高齢者の就業確保や生きがいづくりの一翼を担う古河市シルバー人材センターは、公益社団法人であり収支相償が適用されることから、その支援として平成23年度から古河市より事業運用資金の貸付を受けてきた。今年度も3,000万円の貸付金が議会で議決されたが、保留にしたことについて、①保留を伝えなかった理由②貸付金の保留によ

り4月分の配分金支払いに支障が出たが相談に応じなかった理由③就業機会確保事業費補助金の交付時期を変更した理由、以上3項目について問う。

答（副市長） 以前からシルバー人材センターの4月、5月の資金繰りは厳しく、社団法人は社会的信用度が低いため、金融機関からの借入れが難しい状況であった。そこで平成22年度に要綱を作成し、23年度から市が貸付を行った経緯がある。平成26年から社会的信用度も高い公益社団法人に移行となり、まずは自助努力で金融機関から借入れをするのが本来の望ましい形と思っている。

答（健康福祉部長） ①事業運用資金貸付金の請求に関する市の

方針を決定するのに時間を要した。②シルバー人材センターの担当職員より4月分の資金繰りは見通しがつき、5月分の資金繰りが困難と聞いたため、市では事業運用資金貸付金の交付準備を進めていた。③平成29年度の監査報告を踏まえ、例年一括交付を行っていた補助金について、県内他市町の交付方法に関する情報収集を行った。その結果、2から6回の分割交付が多数であり、今年度から国に準じ3回の分割交付が適当であると判断した。





落合 康之 議員

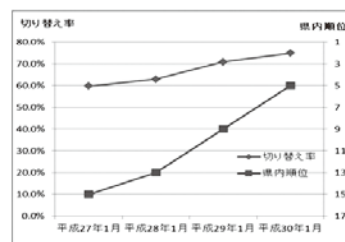
国民健康保険特別会計について

問 特別会計の中で予算が最大規模の当会計は、やり方によっては歳出を減らし、法定外繰入金を抑制することができる。私は前回の選挙でジェネリック医薬品の使用促進と特定健診受診率の向上で繰入金の減額をし、浮いた分を他の予算に充てると市民の皆様にお約束した。そこで、①ジェネリック医薬品への切り替えの推移②ジェネリック医薬品への切り替えによる法定

外繰入金減少の推移③ジェネリック医薬品に切り替えた場合の効果額について平成29年度までの4年間の合計額④特定健診受診率向上への取り組み⑤特定健診受診率の推移について伺う。

答（生活安全部長） ①平成26年度は59.8%、27年度は62.96%、28年度は70.86%、29年度は74.85%で継続的な切り替えに努めている。②平成26年度は5億8,519万円、27年度は11億5,832万円、28年度は7億9,814万円、29年度は4億2,776万円であり、医療費抑制につながっている。③ジェネリック医薬品への切り替え削減効果額は4年間で合計約6,450万円である。④平成30年度は集団健診会場を2カ所増設し、また特定健

診未受診者への受診勧奨通知の送付、人間ドック費用の一部助成等を実施している。⑤平成26年度は30.7%、27年度は31.0%、28年度は32.1%、29年度は32.3%で微増ながら上向いている。さまざまな事業を積極的に取り組み、国保財政の安定化に努めている。



ジェネリック医薬品切り替え率の推移

《その他の質問》

- ・文部科学省実証実験について
- ・期日前投票所について
- ・仁連地区新産業用地について



秋庭 繁 議員

入札制度のあり方について

問 市内の水道業者と古河市が結んだ水道工事の契約において、市の建設工事規則では落札日から7日以内に契約締結をしなければならないが、違反があり20日も遅れた。2年間公共工事実績がなく、保証会社の審査に時間を要したが、市は今後の業者育成の観点から配慮をした。しかし、提出すべき書類が提出されないなどの不誠実な対応についてどのように考えているか伺

う。工事遅延を起こし、その違約金が22,033円では低すぎる。針谷市長の考えを伺う。

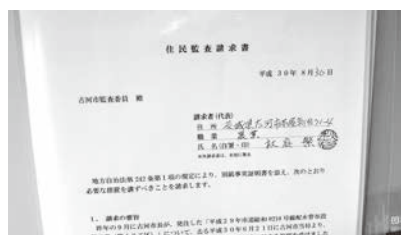
答（市長） 違約金等は規則にのっとり請求し、ペナルティとして90日の指名停止処分を行った。

答（総務部長兼危機管理監） 提出書類等について、何回か連絡をし、催促をした経過がある。なるべく早く契約をするようにとのこちらの依頼に対し、実行が20日間遅れたことは、残念である。

情報公開について

問 審議会、運営協議会などの報告書には一番肝心の議論の内容が掲載されておらず、詳しい内容が市民に伝わらない。市民が見て分かりやすいよう、どんな意見・議論を経て結論が出たのかを掲載するよう、改善すべきではないか。

答（総務部長兼危機管理監） 審議会の組織の概要および会議結果の概要を市ホームページに掲載し、審議会等の運営の透明性の確保に努めている。より市民に分かりやすく、詳細な情報が提供できるよう、今後積極的に取り組んでいきたい。



住民監査請求書

古河市議会古河未来創造特別委員会

最

終

報

告

I 設置および目的

平成 27 年第 4 回古河市議会定例会において、6 名の委員により市政に係る諸課題について、その実現性・実効性を検討・調査し、執行部への提言と市民に対して理解を求める機会をつくることで、議会として古河市勢発展に寄与するためとの目的で設置された。

II 調査項目

- (1) 日野自動車関連事業について
- (2) 古河駅東部土地区画整理事業について
- (3) 新庁舎建設について
- (4) その他

III 活動経過

平成 27 年 12 月 17 日から平成 30 年 8 月 20 日まで委員会 18 回、行政視察 3 回、研修会 1 回を開催し、調査項目についての調査・研究を重ね、活発な議論を展開してきた。

IV 報告

第一次中間報告における日野自動車関連事業の集約と体制強化、第二次中間報告における日野自動車関連企業誘致の積極的な推進については、概ね要望に沿った対応により仁連工業団地造成も開始された。

第三次中間報告においては、

- (1) 日野自動車関連事業について

昨年 1 月の古河工場全面稼働により、多くの関連企業進出が見込まれるため仁連工業団地に続く新たな産業用地の開発、従業員等の定住促進のため若者・子育て世帯定住促進奨励金を含む、さらなる古河市独自の優遇支援制度の検討

- (2) 古河駅東部土地区画整理事業について

事業の早期完了に向けた大区画保留地 5.8 ヘクタールの公共複合施設等を含む有効活用、西牛谷辺見線と十間通りの交差点改良工事、向堀川の改修・仲の橋架け替え工事の早期完成のための積極的な働きかけの継続

- (3) 新庁舎建設について

耐震不足や分庁舎方式での庁舎間移動や事務効率の問題等のため、新庁舎建設に向けた組織の立ち上げや財源確保のための計画的な基金の積み立てなど、委員会の提言をもとに議長から市長へ要望を行った。

今後、市長には、市民のための市政実現を目指し、市政の羅針盤として任務遂行にあたり、議会の意向も尊重しながら、その能力を十二分に発揮していただき、古河市が『華のある都市（まち）古河』の実現に向け、輝かしい未来を創造していくことを願い、最終報告とする。

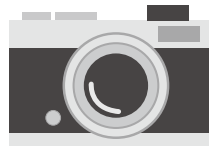
平成 30 年 8 月 30 日

古河市議会古河未来創造特別委員会
委員長 小森谷 英雄

あなたの写真で 表紙を飾りませんか？

開かれた市議会を目指し、より市民に親しまれる市議会だよりにするため、年 4 回（3 月・6 月・9 月・12 月）発行の「古河市議会だより」の表紙の写真を募集しています！

※応募方法など詳細については、市ホームページもしくは議会事務局までお問い合わせください。



議会を傍聴しませんか！

市議会はどなたでも傍聴することができます。

○傍聴の手続き

当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。

本会議場の定員は 62 名（うち車いす席 2 名）です。

○傍聴場所

古河市役所古河庁舎 3 階

★第 3 回定例会の傍聴者数★

議場コンサート	10 人
本会議	55 人
委員会（特別委員会含む）	5 人
合 計	70 人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 平成 30 年 第 4 回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
12 月 4 日（火）	本会議	開会、議案の説明
12 月 5 日（水）	休会	議案調査
12 月 6 日（木）	本会議	質疑、議案の委員会付託
12 月 7 日（金）	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
12 月 10 日（月）	常任委員会	文教厚生常任委員会
12 月 11 日（火）	本会議	議場コンサート、一般質問
12 月 12 日（水）	本会議	一般質問
12 月 13 日（木）	本会議	一般質問
12 月 14 日（金）	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前 10 時からの開催予定です。

○産業建設常任委員会は午前 10 時 15 分からの開催予定です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会中継

QRコード



編 集 後 記

9 月に開催された第 3 回定例会では、平成 29 年度の各会計決算審査や議案の審議、一般質問等を行いました。また、議場コンサートでは、市内団体 2 組に素晴らしい演奏を披露していただきました。

第 4 回定例会も 12 月 4 日から開会を予定しています。市のさまざまな政策が決まる議会となりますので、ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

委員長 秋山 政明

【議会だより編集委員会】

委員長 秋山 政明
副委員長 稲葉 貴大
委員 阿久津佳子 鶴見久美子
鈴木 隆 渡邊 澄夫

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111（代）